



いよいよ^{りしゅう}履修ガイダンス

1/23 の教科ガイダンスが終わりましたので、いよいよ履修登録の作業に入ります。今までの学びを振り返り、これからどのように学びを深めていくのか考えるときです。

- ① 今までどんな必修・選択必修科目を履修・修得しましたか。これから必要な必修・選択必修科目は何ですか。
- ② 今まで進学や就職に向けて必要な科目をどれだけ履修・修得しましたか。これから、進路希望の目標達成に向けて、さらにどんな科目の履修が必要ですか。
- ③ 今まで何単位修得しましたか。卒業までに、これから何単位必要ですか。

シラバスを見ながら自分で考えてください。そして、保護者の方と話し合ってください。

さて、1/30 のホームルーム活動は、履修ガイダンスです。担任の先生の話をよく聞いてください。①～③の他にも、履修の順序など各教科の決まりがありますので、「シラバス」を熟読してください。シラバスを予習し、注意すべき点を把握して聞くと、更に、内容をよく理解できます。

単位制は自分の進路や興味・関心に合わせて授業を選択できるメリットがあります。しかし、卒業するために必要な必修科目や進路に必要な科目を、自分で履修登録する責任が生じます。不安な点やわからない場合は、そのままにせず、必ず担任の先生とよく相談して、履修漏れが無いようにしましょう。

履修登録申込用紙の担任への提出日は、**2月6日(木)**です。丁寧にペン書きを。

シラバスは学びの指針となる大事なものです。



「シラバス」とは、教育活動の計画書のことです。
履修科目を選択する際の重要な資料であるとともに、
学習者を**主体的な学び**に導くものでもあります。



創造的学習 自立への意志 健全な心身

今年頑張るものを選びましょう。

定期考査受査心得

卒業予定者は、いよいよ高校生活最後の定期考査となります。最後まで、完全燃焼しましょう。

- 1 考査時、入校許可証は机の上に置き、監督者が確認できるようにする。

(入校許可証の無い者は受査できない。)

- 2 遅刻の場合は直接考査室へ行き、考査終了後遅刻の手続きをとること。

(15分以上の遅刻は欠課扱いとして、考査得点の8割を得点とする。)

- 3 欠席する場合は、必ず学校に連絡すること。無断欠席、正当な理由がない欠席は0点とする。

(公欠・忌引等の再考査は、結果の10割を得点とする。)

病欠(テスト前に連絡があり、学校が認めた場合)の再考査は、結果の8割を得点とする。)

- 4 正当な理由があり欠席した場合は、「再考査受験願」を提出し、再考査を受査することができる。

日程については、後日連絡する。なお、再考査を欠試した場合は、上記3に準ずる。

- 5 監督者の指示により、教科書などの荷物をロッカーもしくは教室の前後に置くこと。

(机の中や脇に、荷物を置いてはいけない。)

- 6 机間を十分空けて着席すること。(座席は監督の指示に従う。)

- 7 試験中、机の上には筆記用具(及び入校許可証)以外は置かない。

- 8 途中退出は、原則として認めない。

- 9 万一、体調が悪く受査ができない場合は、担任とよく相談すること。(緊急時を除く)

- 10 携帯電話は、電源を切り(アラーム・着信音等も鳴らないようにする)かばんの中に入れておくこと。

試験中、机の上に置いたり、ポケット等に入れたりしたままにしてはならない。

- 11 不正行為又はそれに類する行為があった者は0点とする。それ以降の考査は受査できない。

(カンニング、私語、態度不良(監督者の指示に従わない)等)

- 12 問題用紙も回収するため、解答用紙、問題用紙双方に記名すること。

忘れていた、
時間を間違えた も含む



<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト(スマホで閲覧可能)も対応しています。バックナンバーなどもご覧いただけます。

アクセスは以下のアドレスまたはQRコードへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。



今年頑張るものを選びましょう。

霞城8C ① 自己肯定力 ② 傾聴力 ③ 読解力 ④ 思考力 ⑤ 表現力 ⑥ 行動力 ⑦ 自己管理能力 ⑧ 自立力